

2018年度 学修実態調査（概要）

1. 調査目的

この調査は、学生の学修意識および学修に関する実態を調査、把握し、今後の改善方策の検討のために使用することを目的とする。

2. 調査の対象者

本学に在籍する学部学生 1,366 人（平成 31 年 1 月 1 日の在籍者、但し休学者は除く）

3. 調査の期間・実施方法

期間：平成 31 年 1 月 8 日（火）～平成 31 年 2 月 5 日（火）

実施方法：各学科など・学年のキャリア系科目の必修科目において、Web アンケートを実施した。

4. 調査内容の概要

- ① 学修実態・学生生活満足度調査を整理し、「学修実態調査」（記名式）、「学生満足度調査」（無記名式）に分けて、アンケート調査を行った。
- ② アンケート項目を見直し、細かい変更を加えた。

5. 調査票の回収状況

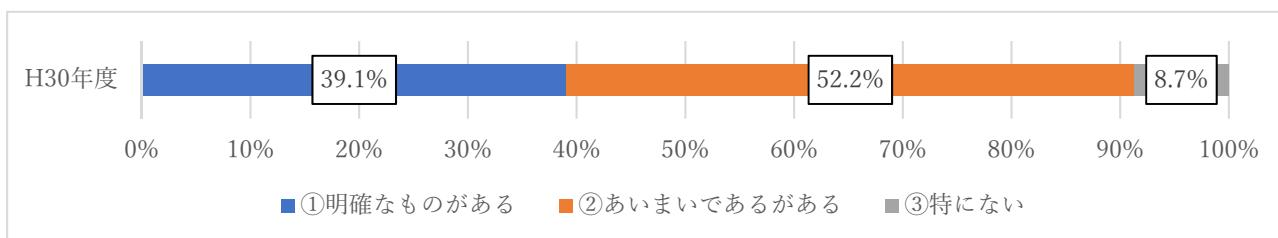
調査票の回収状況は、調査対象者数 1,366 人の内、回収数 990 人であった。なお、学科・系別の回答数は次の通りである。機械系 255 名（82.8%）、電気系 296 名（76.3%）、土木系 131 名（76.6%）、建築学科 202 名（61.4%）、情報デザイン学科 106 名（62.4%）。※ () 内の数字は回答率。機械系は、機械工学系、機械設計工学系、機械設計工学（DE）系、設備保全工学系、デジタルエンジニアリング学科である。電気系は電気情報工学系、電気電子工学系、情報工学系、情報システム系、知能制御工学系であり、土木系は土木工学系、土木環境工学系、環境建設系である。

注) 抜粋版の記載について：コメント文の [] は、抜粋版では省略したグラフに関するものである。

[2] 目的や目標の設定について

1. 大学生生活を送る上で何らかの目的・目標を持ってていますか？

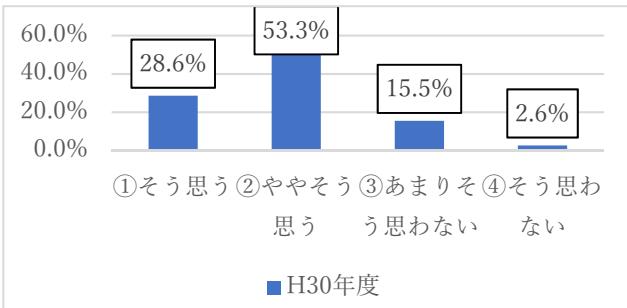
約 9 割の学生が、なんらかの目的や目標を設定し、学生生活を送っていることがわかる。[学年別では、4 年生に低い傾向が見られた。]



[4] この1年の振り返りについて

1. この1年間は積極的に勉学に取り組めたと感じますか。

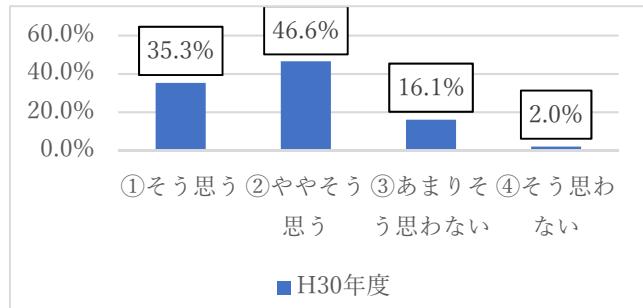
8 割強の学生が積極的に勉学に取り組めたと感じている。
[学年別では、2 年生に低い傾向が見られた。]



[4] この1年の振り返りについて

2. この1年間で成長したと実感しましたか。

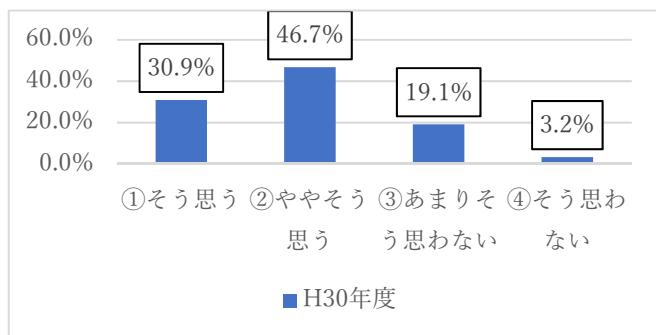
8 割強の学生が成長を実感したと感じている。[学年別では、2 年生に低い傾向が見られた。]



[4] この1年の振り返りについて

3. この1年間で中だるみを感じたことがありますか。

8割弱の学生が中だるみを感じている。[学年別では、2年生に高い傾向が見られた。]

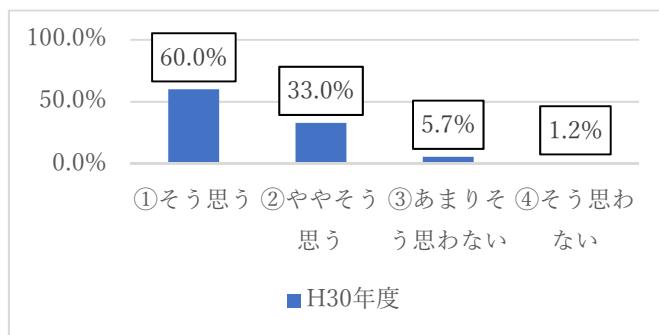


[4] この1年の振り返りについて

4. 次の学年では勉学に力を入れようと思っていますか。

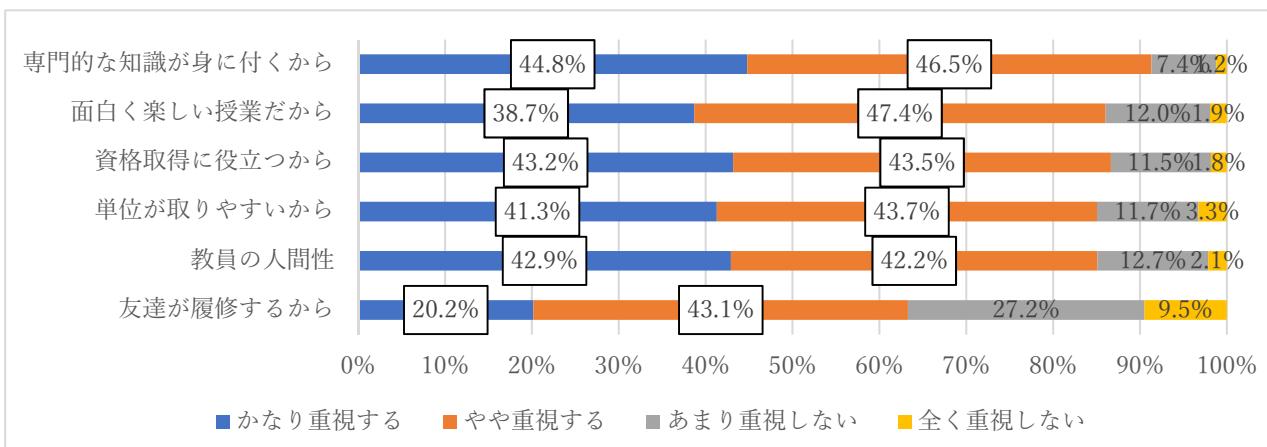
(1年生～3年生向け)

9割以上の学生が次年度へのやる気をもっていると回答した。



[5] 科目履修時に重視する要因について

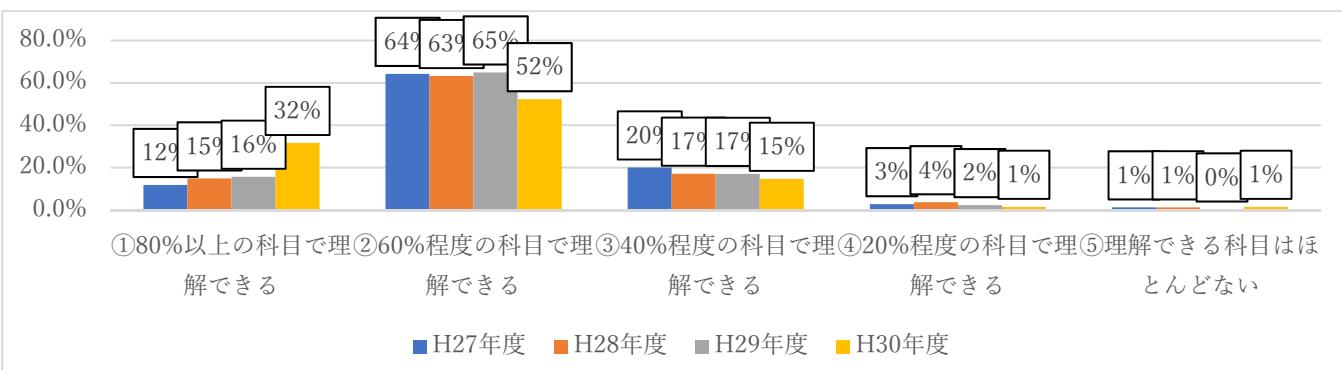
専門的な知識を重視していることが分かる。一方、友達が履修するからの項目は低く、自己の判断により科目選択をしていることがわかる。



[6] 科目履修時に重視する要因について

1. 授業内容を理解できる科目はどの程度ありますか。

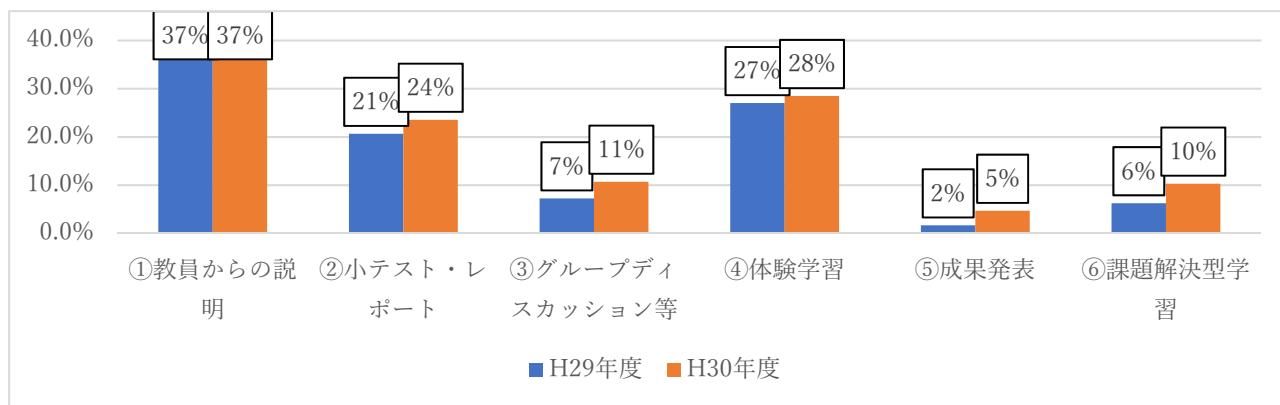
平成30年度は、80%以上の科目で理解できる学生が増加していることが分かる。[学年別では、2年生が低い傾向にある。]



[6] 科目履修時に重視する要因について

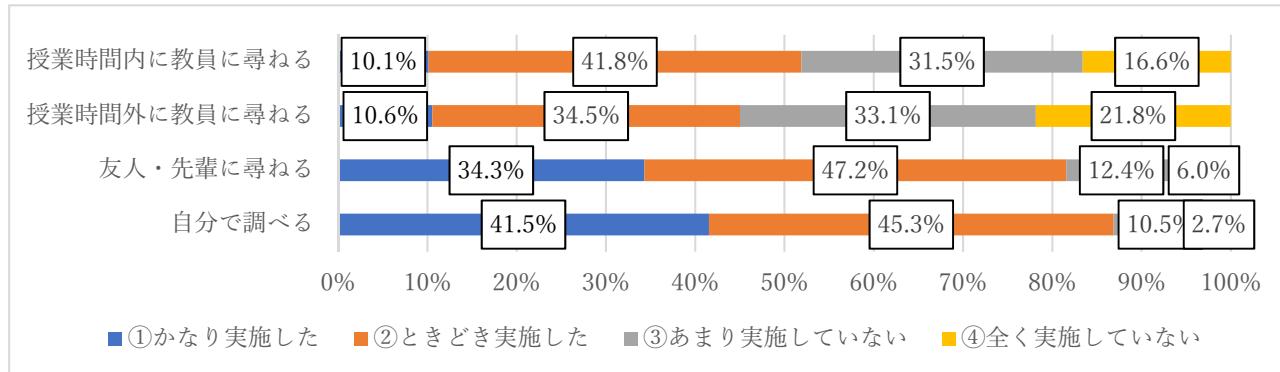
3. 次の授業手法の中で、教育内容が身につくと感じるものはどれですか？（複数回答式）

学生がわかりやすいと感じている授業形態は、教員からの説明や小テスト・レポートなど伝統的な授業形態が多く、一方グループディスカッション・課題解決型学習は低い傾向が見られた。[学科・系別では、情報デザイン学科は課題解決型学習が高い傾向にある。]



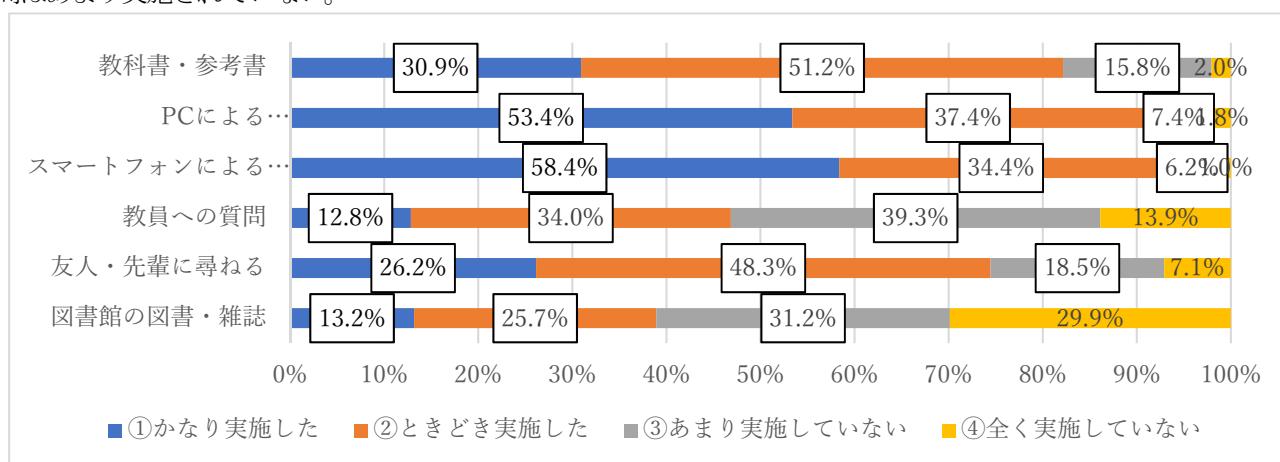
[8] 授業が理解できないときの対応について

自分で調べる、友人・先輩に尋ねるが8割を超えており、一方、教員へは尋ねにくい状況にあることがうかがえる。



[9] レポート作成時などの情報源について

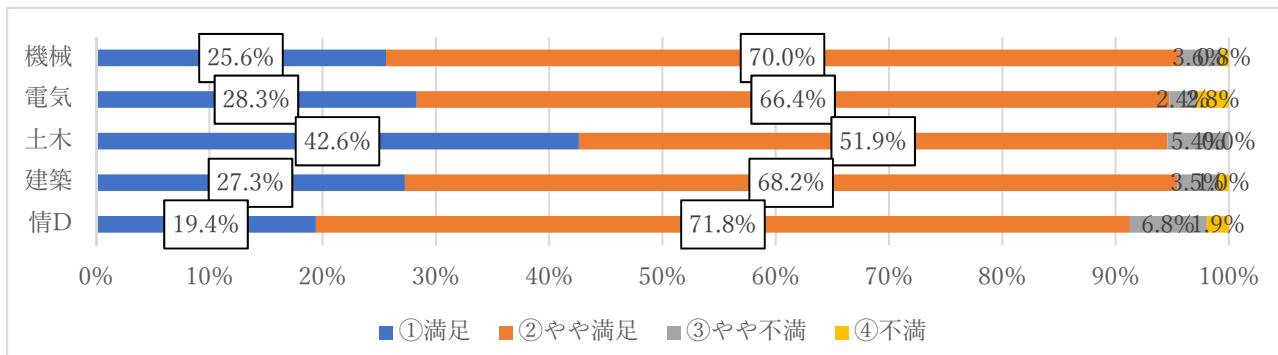
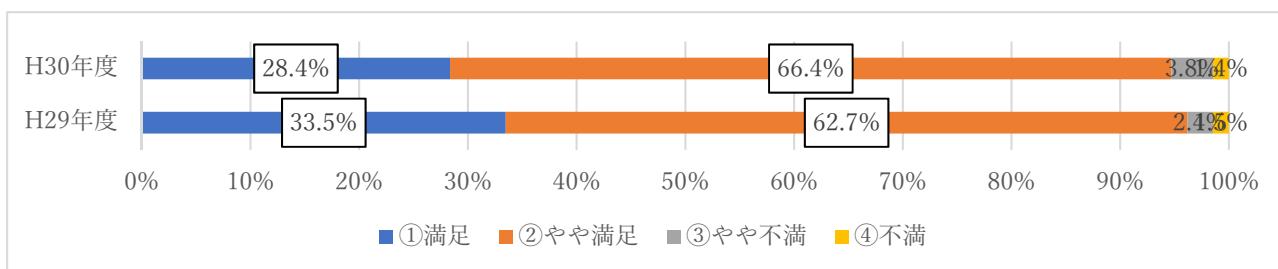
PC、スマートフォンによるインターネットの利用、教科書・参考書の利用が多いことが分かる。図書館の利用や教員への質問はあまり実施されていない。



[10] カリキュラムについて

1. カリキュラムの満足について

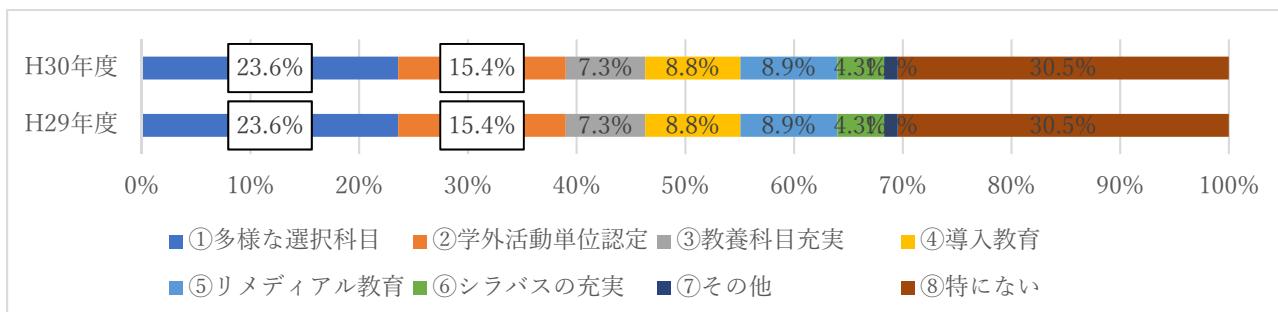
カリキュラムについての満足度は前年度と比較し微減したが、約95%の学生がカリキュラムに満足していることが分かる。



[10] カリキュラムについて

2. カリキュラムに対して要望はありますか。(複数回答式)

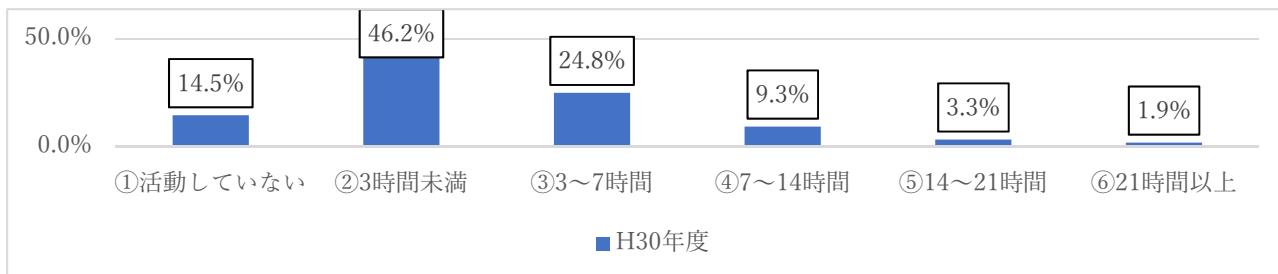
「多様な選択科目」「学外活動の単位認定」に要望が多く見られた。



[11] 勉強、課外活動に費やした時間について

1. 授業に関する勉強（予習・復習・課題など）の時間について

1週間の学習時間は、3時間未満と答えた学生が半数近くいる。全くしないと答えた学生は、過去3年間と比べ、減少傾向にある。



※H30年度より、学生が時間外学習時間を算出しやすくするため1週間単位の問い合わせに変更した。

(参考：過去3年間推移) ※H29年度までは、1日平均授業時間外で学習（課題を含む）についての問い合わせ

